

第2回津別町議会臨時会『行政報告』

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る3月20日、旭日
単光章、津別町自治功労者 ^{にしやま たけし} 西山 健 様がご逝去されました。故人は、
昭和52年に津別町議会議員に初当選し、以来6期24年にわたり、
議員として本町の自治振興に多大なご貢献をいただきました。

生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます
とともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

次に、ガクツナプロジェクトについてありますが、このプロジ
ェクトは、日本航空株式会社（JAL）が地域貢献に関心を持つ大
学生と地域をつなぎ、双方に新しい価値を生み出すことを目的とし
て展開するもので、昨年から東京のEZOHUB TOKYOを拠点
に行っている町のプロモーション活動をきっかけにJALと連携す
る機会があり、プロジェクトの第6弾として3月1日から3月14
日まで、本町において実施されました。

このプロジェクトには、全国から応募のあった40名の中から選
拔された6名の大学生が参加し、関係各所の方たちとの意見交換や
町内視察などを行い、最終日の成果報告会でまちづくりに対する提
案発表がありました。

参加した学生からは、「2週間はあっという間だったが、挑戦する

町民との意見交換を通じて、改めて自分の生き方を考えるよい機会になった。津別町は帰りたくなる町になった。」等の感想をいただいたところです。

このプロジェクトは、外部からの新しい視点を取り入れ、本町の未来と一緒に考えるという、非常に意義のある取組であり、学生たちからの提案を大切にしながら、今後も地域活性化の推進に努めて参ります。

次に、第10回「ものづくり日本大賞」ものづくり地域貢献賞（北海道経済産業局長賞）の受賞についてであります。このたび、株式会社山上木工が受賞されました。

この賞は、経済産業省等が主催する「ものづくり日本大賞」に応募された案件の中から、北海道経済産業局が独自に北海道地域の産業振興や人材育成、技術の伝承などにおいて特に大きく貢献した企業や個人を表彰するもので、道産カラマツを^{あつみつ}圧密技術で加工し、耐久性を向上させた素材を家具材に応用する研究が評価されたものがあります。

この受賞に対し祝意を表しますとともに、さらなるご活躍を期待するところであります。

次に、高齢者に対するお祝いについてであります。3月20日

に ^{いまいたもつ} 今井 保 様が 1 0 0 歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところであります。

次に、ふるさと納税についてであります。令和 7 年度の寄附実績は、1 1 , 1 8 5 件、1 億 2 , 5 6 0 万円で、前年度の 3 , 7 2 9 件、5 , 7 6 1 万円と比較し、件数で 2 0 0 %、金額では 1 1 8 %の増となりました。

増加の主な要因としては、米価格上昇に伴う米を返礼品とした納税の増、9 月の一部ふるさと納税サイトのポイント規制による駆け込み納税など外部要因もありましたが、町内事業者のご協力により新規返礼品を増加させ、これに対する寄附額が 2 , 4 0 0 万円程増となりました。また、主力の玉ねぎについては高温障害により生産量が減少し、返礼品に不足が生じましたが、津別町農業協同組合のご協力により、Mサイズ・Sサイズを活用した返礼品の確保が可能となり、さらに令和 8 年産の先行予約による納税を受け付けたことにより、玉ねぎ 2 0 k g がふるさと納税サイトの一つである「ふるさとチョイス」のすべての野菜部門で全国 1 位を獲得することができました。今後は玉ねぎの紹介画像にランキングアイコンを追加し訴求力の強化を図るなど掲載方法を工夫するほか、多くの方々に本

町を応援していただけるよう事業を推進して参ります。

また、令和7年度の企業版ふるさと納税については、9社から総額1,366万円のご寄附をいただきました。

あらためまして、全国の寄附者の皆様と企業の皆様のご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、寄附金につきましては、ご趣旨に沿い活用させていただく所存であります。

次に、津別町相生総合交流ターミナル施設の指定管理者についてありますが、4月1日より新しい指定管理者である株式会社フジタコーポレーションによる運営がスタートしております。

道の駅あいおいの名物である豆腐を作る過程で発生するおからを活用した新商品「おかき」の販売開始や、4月から道内外の催事に出演するなど様々取り組まれており、相生地区の地域振興のみならず津別町のPRにつながることを期待するところであります。

次に、浦安D-Rocks応援ツアーについてありますが、4月5日、札幌市の大和ハウスプレミストドームにて、本町で合宿を行っている浦安D-Rocks（旧NTTコム）と東芝ブレイブルーパス東京の試合が開催されたことから、スポーツ合宿実行委員会主催による応援ツアーが実施され、総勢35名の参加がありました。

対戦相手は前回王者であり、ツアー参加者の熱い声援の中、試合は最後まで目の離せない熱戦となりましたが、惜しくも浦安D－R o c k s の勝利には至りませんでした。試合後には、ツアー参加者と選手との交流タイムも設けられ、充実したツアーとなりました。

浦安D－R o c k s には、地域の活性化や町民との交流にご貢献をいただいております、今後も長く本町での合宿を実施していただけるよう期待するところであります。

なお、本ツアーの様子は、タウンニュースつべつでも紹介しております。

次に、交通安全推進運動についてであります。4月9日、中央公民館において、関係者等90名の参加により、交通安全推進町民大会を開催いたしました。

この大会において、「町内における交通事故死ゼロ日運動」の目標1,000日の達成日（令和8年6月22日）及び「町民による交通死亡事故ゼロ日運動」の目標1,500日に向け交通安全運動の継続を確認したところです。なお、「町民による交通死亡事故ゼロ日運動」は、大会開催後の令和8年5月20日をもって目標を達成することができました。これは関係機関はもとより町民の皆様とともに運動を展開した結果であり、今後も悲慘な交通事故のない明るい

まちづくりを目指し、運動を継続して参ります。

次に、**町民植樹祭**についてであります。5月10日、網走南部森林管理署との共催により開催いたしました。

当日は関係者・町民・町内で働く外国人を含め73名が参加し、オホーツク総合振興局東部森林室職員による植樹指導のもと、カラマツの苗木400本を最上町有林内に植栽いたしました。

また、植樹祭開催に対しまして、社会福祉法人恵和福祉会様、エア・ウォーター・ライフソリューション株式会社様のご厚意により、苗木と実施看板を提供いただき、あらためましてお礼を申し上げる次第であります。

今後とも、関係各位とともに愛林のまちとして、豊かな森林環境の造成に努めて参る所存であります。

次に、ふるさと応援Hプログラムによる寄附についてありますが、5月15日、札幌市中央区のエア・ウォーターの森において寄附授与式が行われ、出席いたしました。

このプログラムは、道内市町村の環境保全等の取組に対し、エア・ウォーター北海道株式会社の主催する財団より寄附されるもので、本町は昨年に引き続き、木質バイオマスの取組が評価され、寄附額の上限額であります1,000万円のご寄附をいただきました。

寄附金につきましては、今年度予定しています木材粉碎機の整備など木質バイオマスセンターの機能増強に活用して参ります。

次に、寄附についてであります。5月15日、まちづくりに役立てて欲しいと100万円のご寄附をいただきました。ご本人の希望により氏名の公表は差し控えさせていただきますが、ご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただく所存であります。

次に、21世紀の森キャンプ場寝台車整備についてであります。5月22日、鉄道友の会に所属する福岡県在住の中村^{なかむら}光司^{こうじ}氏をはじめとする鉄道愛好家3名が来町し、6月2日までの予定で寝台車の整備及び清掃を行っていただいているところです。

鉄道友の会から昨年度要望のあった車両の傾き修繕について今年度実施する予定であり、今後につきましても中村氏をはじめとする鉄道友の会の皆様と意見交換を行いながら、寝台車の活用について検討を進めて参ります。

なお、今議会におきまして、条例制定等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。行政報告といたします。